

【実験・体験 No. 1】

(担当部名 企画情報部)

テーマ名	気候変動と適応を考えよう
対 象	小学生(5年生)～大人
最大人数	20名
所要時間	90分～120分
学習のねらい	地球温暖化による気候変動が暮らしに影響していることを学び、自分にもできる適応策を考え、命や暮らしを守るために、気候変動に適応することが重要であることに気づく。
内 容 ※実施時間に合わせて調整する。	<p>気象観測データや動画等から、気候変動の状況、将来予測を学ぶ。実験により、命や暮らしへの影響を視覚的に認識する。 気候変動適応の重要性に気づき、自らできる適応策を考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 家族と考える気候の変化 事前に記入し持参した気候に関する世代別家族アンケートを集計し、気候の変化を感じる。 2 数字で見る気候変動 気象観測や将来予測のデータで、気候変動状況や将来予測を学ぶ。 3 サーモグラフィを用いた実験 日射の影響、効果的な発汗等について実験し、暑熱対策について考える。 4 雨の降り方モデルを用いた実験 雲の違いによる雨の降り方の違いについて実験する。
出前講座の可否○× (注意事項)	○ (実験器具の設営・撤収のため、実施前後の時間が必要。)
必要な感染対策	<p>受付時に検温と手指消毒を行う。 原則マスクを着用する。 実験前後、休憩前後に手指消毒を行う。</p>